

様式第3号

会 議 録

会議名 (付 属 機 関 等 名)		令和2年度 第1回 川西市産業ビジョン推進委員会 地域経済対策検討部会		
事務局 (担 当 課)		市民環境部 産業振興課		
開催日時		令和2年10月15日(木)午後1時～3時		
開催場所		オンライン開催(川西市役所 2階 201会議室)		
出席者	委員	佐々木部会長、時任部会員、山本部会員、木原部会員、辻田部会員、須磨部会員、野原部会員、藤森部会員		
	事務局	市民環境部岡本部長、阪上副部長、 産業振興課飯田課長、大島課長補佐、中野主任		
傍聴の可否予定		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	1人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		<p>1 開会</p> <p>2 議事 (1) 第1回川西市産業ビジョン推進委員会の振り返り (2) 事業者ヒアリング調査と本市産業の現状と課題 (3) 産業ビジョンとポストコロナ時代の経済対策の検討 (4) その他</p> <p>3 閉会</p>		
会議結果		別紙 審議経過のとおり		

審 議 経 過

事務局	<p>1 開会</p> <p>ただ今より、令和2年度第1回川西市産業ビジョン推進委員会 地域経済対策検討部会をオンライン形式で開催いたします。私は、進行を務めさせていただきます、産業振興課長の飯田でございます。よろしくお願いたします。事務局ではオンライン形式での会議開催は、初めての試みになります。皆様には進行上、ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、ご協力くださいますようお願いいたします。</p> <p>開催に先立ち、オンライン会議システムでの参加及び通信の確認を行います。本日は、全委員がオンライン会議システムによる出席となります。会議開始前に事務局が「映像及び音声により委員本人であること」、「会長及び委員相互間での映像及び音声の即時の相送受信が適正に行われていること」の2点について、確認を取っております。</p> <p>次に本会は、部会長と部会員6名のご出席をいただいております。(残り1名の委員は約5分後に参加し7名の出席となる。)当委員会の規則第7条第2項の規定による、定数を満たしておりますことをご報告いたします。</p> <p>次に、参画と協働のまちづくり推進条例に基づき、2点お伝えいたします。</p> <p>本日の会議は、こちらの市役所会議室にプロジェクターを設置し、会議内容が傍聴できる体制とし、公開のもと行って参ります。</p> <p>なお、会議録の作成のため、当会議を録画・録音いたします。会議録の作成後には速やかに削除いたしますのでご了承願います。</p> <p>【地域経済対策検討部会員の紹介】</p> <p>続きまして、事務局から、当部会員のご紹介をさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">< 事務局から部会員のご紹介 ></p>
事務局 市長	<p>続きまして、市長からひとことご挨拶をさせていただきます。</p> <p>いつもお世話になっております、市長の越田でございます。審議会でもオンラインでの会議について新たなルールを作り、今回はオンラインで会議を開催します。産業ビジョン策定に参加いただいた委員や新たに参加いただいた方は、川西市の地域経済を検討するベストメンバーと考えています。</p> <p>この会議の開催にあたり、このような会議を皆様にお願した想いをお話したいと思ひます。市長に就任して丸2年経過しましたが、昨年、1年間をかけて議論していただき産業ビジョンを策定しました。いろんな議論をしていただき、新しい川西をス</p>

	<p>スタートさせるため、飯田課長を産業ビジョン推進担当課長とし、アクセルを踏もうとしていたところで、コロナ禍により急停止しなければならなくなりました。4月以降、緊急経済対策として7回の補正予算を編成し、16億円の予算を様々なところで使用しており、全てを経済対策に使用しているわけではありませんが、飯田課長を中心に取り組んでいる状況です。</p> <p>政策を形成する際、これまでは様々な方との対話を通して答えを見つけることが私のスタイルでしたが、この半年はコロナ禍で対話ができず、行政だけで施策を考え進めなければならないのが現実でした。ここで原点に戻り、当事者の方も含めて議論を進めていく中で、来年度以降のしっかりした施策につなげたいと思い、スタートさせていただきます。</p> <p>コロナ禍は経済活動をされている皆様にとっては大変厳しいものだと思いますが、川西市にとっては大きなチャンスとも感じています。川西市は新興住宅地を中心とするベッドタウンとして成長してきました。ベッドタウンということは、大阪に働きに行くことを前提にまちを作っているため、大阪で暮らすことができるタワーマンションが建つと、比較して川西市のまちの価値や魅力が低下してしまいます。ただ、テレワークやリモートが可能になった中で、大阪に行かなくても川西で働くことができるようになり、これが地域経済の柱になるのではないかと実感しています。50年間目指してきた新興住宅地の形から、新しい時代のベッドだけではない新興住宅地ができるのではないかと考えています。ただそのためには、川西市で働き活躍する、稼ぐ場所への変換が必要ですが、行政の力だけではできません。むしろ、様々な経済活動をされている専門家の皆さんに議論いただきたい。今までは行政がつくり、皆さんに加筆修正していただくという形の審議会が多かったのですが、今やりたいことは、議論しながら、プレイヤーになったとしても実現できる計画なのか、自分が主体として取り組む場合に本当にやるべき政策なのかということも念頭に置き、一緒に作り上げていくような議論をさせていただければ思っております。</p> <p>そうは言いながら、時間も残り半年を切っている状況での取り組みであり、皆様には時間的にもご負担をおかけすると思いますが、川西の新しい時代をつくる一步を踏み出す大きなスタート地点だと思っておりますので、どうか力を貸していただきますようお願いを申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>事務局 市長、どうもありがとうございました。</p> <p>市長は、この後、別の公務により中座いたしますが、時間の許す限り、当会議をご覧いただきます。</p> <p>事務局 続きまして、事務局の出席者名をご紹介します。</p>
--	---

	<p>市民環境部長岡本、同副部長の阪上、産業振興課長補佐の大島、同主任の中野が出席しております。</p> <p>また、当部会の運営等を委託しています(株)地域計画建築研究所の江藤、飯塚も同席しております。どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>続いて、お配りしております資料の確認をさせていただきたいと思っております。事前に皆様方の方に郵送させていただいた資料の確認でございます。</p> <p style="text-align: center;">< 資料確認 ></p> <p>また、資料1 - 1と1 - 2として皆様にメールでお送りしております、各委員から頂戴した「ご提案シート」を取りまとめた資料はご用意いただいておりますでしょうか。</p> <p>事前にお送りさせていただくべきところ、このような形となり、申し訳ございませんでした。ご協力いただきありがとうございました。</p> <p>それでは、議題の進行に移らせていただきたいと思います。進行は、当ビジョン推進委員会規則第7条第1項の規定に基づき、部会長に議長を務めていただきます。</p> <p>では佐々木部会長、よろしく願いいたします。</p> <p><u>2 議事</u></p>
部会長	<p>改めまして佐々木です。このように部会も始まりました。皆様の知恵をお借りして進めていきますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは次第に沿って進行をさせていただきます。</p> <p>会議中、委員の皆さまからのご発言の際には、挙手いただき、こちらから指名させていただいた後に、マイクをオンにしてご発言をお願いいたします。</p> <p>会議は3時までを予定しておりますので、円滑な進行にご協力くださいますようお願いいたします。</p> <p><u>議事(1)第1回川西市産業ビジョン推進委員会の振り返り</u></p>
部会長	<p>第1回川西市産業ビジョン推進委員会の振り返りということで、先ほど資料1 - 1と1 - 2について触れていただきましたが、まず事務局から趣旨説明をしていただき、そのあと本題に移りたいと思っております。よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p><資料1 - 1 ~ 2 第1回川西市産業ビジョン推進委員会の意見整理について説明></p>

部会長	<p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>それではトップバッターとして、私から提案について述べさせていただきます。</p>
部会長	<p style="text-align: center;">< 資料1 - 1 部会員によるご提案1について説明 ></p>
部会員	<p>それでは引き続き、次のご提案について、順にご説明をお願い致します。</p> <p style="text-align: center;">< 資料1 - 1 部会員によるご提案2について説明 ></p> <p>【補足説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生の動きが一切ないため、周辺の飲食店が大きな影響を受けています。人の動きによる周辺エリアへの影響はとても大きいと感じています。 ・ 前職では coworking space での講座やイベントのオンライン配信も実施しました。最初は参加者が集まらなかったのですが、その後は受講者も増え、学びに限らず、距離や時間に縛られることなく、遠隔でもつながることができるようになったことを潮流と捉えています。 ・ 事業者の実態把握調査を拝見して、リモートワークにどのように手を付けていいかわからないという意見もあったので、これを契機にDX（デジタルトランスフォーメーション）へ移行してはどうかと考えました。遠隔であっても効率的に働くことを考える良い契機です。浜松市から委託を受けて、デジタル化のコンサルティングも行っているため、そうした紹介もできますので、どう対応すべきか知見の提供が必要だと思います。 ・ 西宮商工会議所で参画しているプロジェクトのひとつに、実店舗での消費が落ちているため、その商品を集めてデジタル上で販売するサイトをつくり、商品開発から学生が関わっているものもあり、希望があれば対応も可能です。
部会長	<p>実体験に基づいた貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>それでは次のご提案について、ご説明をお願い致します。</p>
部会員	<p style="text-align: center;">< 資料1 - 1 部会員によるご提案3について説明 ></p> <p>【補足説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業診断士として事業者ともやり取りをしていて、今回はコロナ対策で経済産業省の電話相談窓口の対応も行っていました。川西市の事業者の声を集約しているわけではないですが、全国的な傾向として、いろんな補助金や助成金があっても、厚労省や経産省、自治体などバラバラであり、パッと見てわかるものがほしいとい

<p>部会長</p>	<p>う相談が最も多い状況でした。集約は難しいかもしれませんが、情報収集のやり易さや見易さは大事だと感じました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困ったときには地元の商工会や商工会議所、よろず支援拠点や自治体に直接聞くよう案内しますが、そういうところには電話しづらい、商工会等の会員になっていないため敷居が高いという声もありました。ポストコロナ、ウィズコロナで困ったことがあった時に、市でも商工会でもない、気軽に相談できる地域の窓口があっても良いと思いました。市内の士業や専門家が普段から集まるような、人材バンクではないですが、そういう中間的な立場で相談を受け、専門部署につなぐ組織があればと思いました。 ・経済対策については、一市民の立場で感じたのは、学校が休校になり、川西市の給食業者さんは大丈夫なのか気になりましたが、自分に何ができるのかわからず、結局、市にも聞けずじまいでした。2学期になって給食が再開した時に、川西の給食業者が営業を休止したため変更になったと連絡があり、何かできなかったのかと心残りでした。非常事態の時に気になったことの相談や、飲食店が持ち帰り販売をしたくなった時の相談、市役所前の広場は使用可能なのかなど、普段は無理でも非常事態時だけでも規制を緩和し、部署横断的に動けるような仕組みがあれば、市民も小さなアイデアを出し合い、柔軟に動けるのではないかと感じました。 <p>情報収集について貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>それでは次のご提案について、ご説明をお願い致します。</p>
<p>部会員</p>	<p style="text-align: center;">< 資料1 - 1 部会員によるご提案4について説明 ></p> <p>【補足説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直売所は全国的には盛況ですが、一方で廃棄ロスも生まれていて、ロジスティクス的にうまく流通できていない状況が見受けられています。 ・GoToイートやGoToトラベルもありますが、活用できる事業者が限られていると思われます。下限金額が決まっており、無理やり朝食を付けて制度に合わせた価格設定をして、逆に使いづらくなるようなことも起こっているようです。 ・巣籠り需要で食への関心は高まって、地元消費やローカル消費がフードシステムとして興味を持たれていますが、国の政策は生産地をつくることにあり、生産しているものが偏っています。特産品はたくさんつくれるけれど、日常使いの野菜は地元で買うことが難しいため、直売所が人気になったのではないかと考えています。 ・大学では、就職活動そのものがオンライン化してしまい、同期と直接顔を合わせたこともなく、活動そのものに不安を覚えているような学生も見られます。新入生は

<p>部会長</p>	<p>友達がなかなかできないという状況もあり、オンライン疲れやパソコンを使えないため正確な授業情報を入手できないなど、デジタルデバイドが進展するのではないかと考えられました。世代が変わると扱える機器が違ってきます。私たちはキーボードに慣れたキーボード世代かと思いますが、10年違うとフリック世代になってきます。そのような学生やもっと若い人たちと、どうやってコミュニケーションを取るのかも重要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政としてはつながりをつくるのが重要です。コロナ禍になってから年代や生活様式で断絶が起こっていて、引きこもってつながりが持てなくなっています。精神的な不安を解消する支援が必要ではないかと思います。 ・農業者に関しては、新たなものの生産や販売の不安解消のために、短期的な支援を実施することを伝える必要があります。また、川西らしい生活様式とは何かを明示していくことが必要だと思います。 <p>非常に多岐に渡ってご説明いただきました。雇用の問題からサプライチェーン、そして生活様式に至るまで、多岐に渡るご指摘をいただきました。</p> <p>また最後に議論の時間があります。それぞれからいただいた意見で気づかれた点についても、最後に意見交換をしたいと思います。</p> <p>それでは次のご提案について、ご説明をお願い致します。</p>
<p>部会員</p>	<p style="text-align: center;">< 資料1 - 1 部会員によるご提案5について説明 ></p> <p>【補足説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月はシルバーウィークがあり、減少幅を18.3%までに留めることができ、回復の兆しはあるが現状はまだ厳しい状況が続いています。 ・8月下旬からハイキング事業やイベント事業を再開したものの、対策については手探りで、ガイドラインを最低限守るように参考にしたことと、ハイキングは地域の人の理解がなければできないため、自治会長へご挨拶に周り、ご理解いただいて実施しています。 ・ハイキングは年間30回程度実施していますが、平均600名程度来ていただいています。9月は200名程度に参加いただきましたが、10月に入ってから600名に参加いただき、例年並みに戻っている状況です。 ・電車イベントのおでん電車やビール電車という、電車に乗って沿線の魅力を知ってもらうようなイベントは、気密性が高いため無理と考えており、今後は駅ホームイベントを実施していこうと思っています。
<p>部会長</p>	<p>自動車での利用が非常に増えているということで、公共交通機関を利用するという</p>

	<p>大きな流れが、コロナ禍によって一旦止められたような状況になっています。この点に関しても、観光振興等を踏まえて提言していくべき大きな課題となっているかと思えます。</p> <p>それでは次のご提案について、ご説明をお願い致します。</p>
部会員	<p style="text-align: center;">< 資料1 - 1 部会員によるご提案6について説明 ></p> <p>【補足説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銀行本部の所管部を通じて集めた回答で、一般的な話になっています。 ・オンライン化については、当行の消費者ローンにつきましても、Webで初対面の申し込みから最終契約までできるように変わりました。 ・生産性向上については、集合研修がテレビ会議に変わってきています。 ・事業承継については、よくオーナーさんと話す機会がありますが、高齢の方ほど、コロナ禍によって前倒しで事業承継をするべきかという話が出てきます。慎重な経営者の方も心境の変化があるのかと、最近感じているところです。 ・川西支店では、コロナ禍による融資件数が前年比で2倍に増えています。特に4～6月は緊急対応が必要な方が相談に来られるケースが多かったのですが、一段落したのか資金繰りに余裕のある方が、その制度を利用して借りてみようとして来られていて、若干変わってきていると感じています。
部会長	<p>まさに現在の厳しい現場についてお話いただき、そういった立場からご提案をいただきました。</p> <p>おそらく生産性向上というのは大きなキーワードになり、最後の提言にも繋がっていくことになろうかと思われます。</p> <p>また、お知恵をかりながら、今後の検討部会で詰めていければと思います。</p> <p>それでは次のご提案について、ご説明をお願い致します。</p>
部会員	<p style="text-align: center;">< 資料1 - 1 部会員によるご提案7について説明 ></p> <p>【補足説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフ事業部は、若年層が130%近くまで急増しています。ランチや入浴の制限で1回のラウンド単価が割安になり、しかも交通渋滞が緩和していることもあって、遠方から来るお客様も多くなっています。練習場も、全国的に売上を対前年比120%程度まで伸ばしていると聞いています。 ・レストランでは、近場で呑める場所と捉え、生ビールの売り上げが増加した。
部会長	<p>非常に詳細にまとめていただき、もうこのまま出してもいいぐらい、詳細なご意見</p>

	<p>もちょうだいいたしました。今後深めていくべき論点も多々あったかと思います。</p> <p>政策というものは、一元的にあるいは画一的に講じていくものではなく、最終的には提言にまとめていただきましたが、やはりマトリックスを踏まえて、最終提言の形にできればと私もお発表を聞きながら感じた次第です。</p> <p>それでは次のご提案について、ご説明をお願い致します。</p> <p style="text-align: center;">< 資料1 - 1 部会員によるご提案8について説明 ></p> <p>【補足説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会としては、コロナ禍が始まってから問い合わせが急増しました。今までにない忙しさで、融資をはじめ、補助金や労務、販売など多数の相談があり、商工会として、本当の存在意義を見出したタイミングだったと、改めて思いました。商工会には事業者がたくさんいますが、今まで会ったことのない会員さんも相談に来られました。まだまだ使われていないところもあると思いますが、これまで以上に存在価値を見出したと感じました。 ・商工会として、テイクアウトのWebサイトを立ち上げました。また、現在取り組み中ですが、市内の手を挙げていただいた20社の地域飲食店の紹介等を作成して、スタンプラリーをしようと思っています。コロナ禍の中で外に行けない、遠くに行けないという人もあり、改めて地域の人々に地域のお店を知っていただけるような取り組みができないかと考えています。マイクロツーリズムという話もありますが、まずは川西の人に川西のいいところを知っていただくという取り組みの一環で、現在、動画をつくってスタンプラリーの段取りをしています。 ・昨年まではインバウンドに力を入れており、能勢電鉄様ともいろいろ話しながら、外国の留学生を連れて旅行するなど、いろいろやっていましたが、コロナ禍で一気になりました。 ・行政と事業者と住民の3者で目標を明確にし、実現に向け取り組むことが大切ですが、今は住民と市内の事業者が交わることもないため、そのような場ができれば、より川西は力強くなるのではないかと感じます。
部会長	<p>商工会の立場から、本当に細かく業種ごとの状況を説明していただき、提言もまとめていただきました。</p> <p>我々は「新しいものを」という意識で考えがちですが、冒頭で触れられたように、既存のサービスや商品へのアプローチについては目からうることいいですか、やはり地に足をつけて考えていかなければならず、そこにプラスして新しいところを追求していくという示唆をいただいたと思います。ありがとうございました。</p>

事務局	<p>次に、事務局から委員による意見シートの説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">＜ 資料1 - 1 委員によるご提案1～5について説明 ＞</p> <p>【補足説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、新卒の就職への影響がかなりあると考えられますので、地域産業をしっかり元気にして雇用につなげる政策も必要かと感じています。
部会長	<p>資料1 - 1につきまして、全てご意見を頂戴し、補足説明もいただきました。</p> <p>ここまでで何かご質問やご意見はございますか。</p> <p>時間がかかり押してきましたので、また改めて議論していきたいと考えております。</p>
事務局	<p><u>議事(2) 事業者ヒアリング調査と本市産業の現状と課題</u></p> <p>続きまして、事業者ヒアリング調査と本市産業の現状と課題について、資料の2 - 1、2、3を続けてご説明をよろしく願いいたします。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">＜ 資料2 - 1 本市産業への影響に係るヒアリング調査結果について説明 ＞</p> <p style="text-align: center;">＜ 資料2 - 2 市内事業者 緊急アンケート調査 集計表について説明 ＞</p> <p style="text-align: center;">＜ 資料2 - 3 鉄道・ケーブル・リフト 乗車数について説明 ＞</p> <p>【補足説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、まちなかウォッチャーへの調査と、つながりづくり支援事業申請者へのアンケートを実施予定です。
部会長	<p>資料2 - 1～3で、アンケートヒアリングに基づくような定性的な部分、そして定量的な部分の両方を調査していただきました。</p> <p>時間があまりありませんが、何かご質問、ご意見等はございますか。</p>
部会長	<p><u>議題(3) 産業ビジョンとポストコロナにおける経済対策の方向性の検討</u></p> <p>それでは申し訳ありませんが、最後の議題に移らせていただきます。</p> <p>産業ビジョンとポストコロナにおける経済対策の方向性の検討について、資料3に基づき事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>＜資料3 産業ビジョンとポストコロナにおける経済対策の方向性の検討について説明＞</p> <p>【補足説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皆様から様々な取り組みをご提案いただき、事項別に取りまとめた資料1 - 2の3ページに、各主体が取り組むべき経済対策としてまとめています。本日、皆様からいただいたご説明も踏まえて、お知恵をお借りしながら方向性の検討を進めたいと

<p>部会長</p>	<p>考えております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日はあまり時間がないため、次回以降の議論に備えて、部会員の皆様にもご検討をいただくと大変助かりますので、よろしくお願いいたします。 <p>本来でしたらここで20～30分の時間を取らせていただいて、資料1 - 1で部会員の皆様方からいただきました意見をより深めるための意見交換をしたいと思っておりましたが、内容が多くタイムオーバーとなってきました。次回以降に皆様方のご意見を更に頂戴しながら、詰めていきたいと考えております。</p> <p>会議の進め方や今後に関して、もし何かございましたら、この場で頂戴したいと思いますがいかがでしょうか。次回の検討部会では、おそらくたっぷり時間を取れるかと思えます。</p> <p>皆様方のご意見からキーワードをざっと述べていきますと、テレワーク、デジタルトランスフォーメーション、個店対応、情報収集、協働的な相談窓口、雇用の場、特に情報収集に関しては補助金等に関するプラットフォーム的な提供の仕組み、農産物に関する取引関係や物流を踏まえた状況の把握、地元消費の拡大、新しい生活様式に対する支援、ここに出てきたのがスピーディーで短期的な対応と、中長期的な視点を持った対策を同時に考えていかなければならないことかと思えます。</p> <p>続きまして、公共交通機関の利用促進、それと合わせた観光振興、生産性向上の取り組み、廃業対策、地域資源を生かした産業の創造、スポーツの場合はインドア・アウトドアとのバランスを取る二極化した状況に対する支援づくり、そして一旦リズムが止まってしまったものを立て直すことは、人間生活でも非常に難しいことですが、そういった一度リズムが崩れた部分を立て直すような方向性、そして生ビールの話がありましたが、意外な形で市場が創造できる部分、この辺りへの対応もできるのではないかと思います。</p> <p>そしてマトリクスについては、巢籠りの中身をより細分化した形で見て、政策を実施する場合にもマトリクスとして対応していく。</p> <p>また、業種ごとにコロナ禍の影響はかなり違いますので、全体への総論としての施策と各論レベルでの施策というような二段構えも重要になってくるかと思えます。</p> <p>私も触れましたが、新規的な部分だけでなく、既存のものに対してどのようにアプローチするのか、そして最後に、最低限度の支援と、そこにプラスアルファすることで、より一層やる気を促進していくような支援体制など、非常に多岐に渡ってご意見をいただきました。漏れていることについては次回以降にご指摘いただきながら、より深めていければと思います。</p> <p>かなりキーワード的にも方向性的にも、それぞれの立場からたくさんご意見を頂戴</p>
------------	---

事務局	<p>いたしました。次回以降、うまく取りまとめていけるようにと考えております。</p> <p>地域にとっても重要な部会になると思っておりますので、また次回以降、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは事務局にお返しいたしますので、よろしくお願いいたします。</p> <p><u>3 閉会</u></p> <p>部会長、会議の進行をありがとうございました。</p> <p>次回のビジョン策定部会の開催は11月19日（木）の13時から、本日と同様にオンライン形式で実施する予定です。これらにつきましては、改めてメールでURL等をお知らせいたしますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、第1回の全体会議の資料5で、スケジュール全体をお示しさせていただいております。ご予定いただきますようお願いするとともに、先ほど部会長からお話がありましたように、今後もしっかりとご議論いただくために、部会長、または部会員の皆様のご意見いただきながら、会議の回数などを増やす必要もあるかと、事務局では考えています。部会長と相談の上、皆様にご照会させていただきたいと思っております。忌憚のないご意見いただきますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>最後になりましたが、オンライン形式での会議開催については、事務局としまして不慣れなところがあり、ご迷惑をおかけしたところも多々あったかと思っております。皆様のご協力により進行できましたこと、感謝申し上げます。</p> <p>それでは、本日は長時間にわたりご議論いただきまして、誠にありがとうございました。この後、ズームミーティングからのご退出をお願いいたしまして、本会議を散会したいと思います。どうもありがとうございました。</p>
-----	---